

こころざし



発行・編集
深谷市教育委員会学校教育課
〒366-0823 埼玉県深谷市仲町11-1
TEL:048-572-9578 FAX:048-580-3260
E-mail gakkou@city.fukaya.saitama.jp

「魅力ある学校づくり」

～ 子供たちにとって学校が楽しく充実した場所となるために ～



どうして、今、「魅力ある学校づくり」なのでしょう。

深谷市版「魅力ある学校づくり」詳細については、深谷市教育委員会だより「こころざし」第58号をご覧ください。



学校の役割

橋渡しとしての学校

情

家庭

(感情や心に重きを置く)



理

実社会

(論理に重きを置く)

子供たちは家庭から、やがて実社会へと歩みを進めます。その橋渡しになるのが“学校”です。学校には、魅力ある場所となることが求められます。

しかし、現実には...

...不登校の増加など...

小・中学校における不登校児童生徒数
全国 29万9048人(令和4年度)過去最高
(文部科学省調査)

改めて、「魅力ある学校づくり」の推進が求められています。

視点① 視点② 視点③がポイントとなります。

視点① 魅力ある教師の存在

教師間での学び合いの充実
～「こころざし ふかや教師塾」～

校種・学校の垣根を越え、学校間で優れた授業や、教師と子供たちとの関わり方の様子を参観し合うことで、指導力の向上を図っています。



研修・自己研鑽の充実



教師は、子供たちの成長・発達に責任をもつ専門職業人であり、教師であることの使命感をもって、日々子供たちに接しています。

自らが高みを目指し、切磋している教師となるよう、教育委員会は学校と一体となって対応しております。

視点② わかる授業

子供たちは誰もが皆、“学校へ行って何かかわかりたい” “何か身に付けたい”と願って登校します。

- ・ 子供たち一人一人の実態を把握し、わかる授業の推進が鍵となります。
- ・ 不登校の最大の予防策は“授業がわかること”です。



協働的な学び



これまでの学び
+
ICTの利点を生かした学び

視点③ 楽しく語り合える友の存在

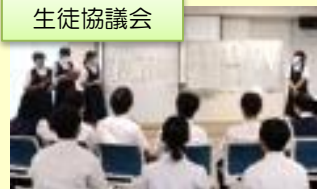
運動会



学級会



生徒協議会



部活動



ドイツの詩人、シラーの言葉に「友は喜びを二倍にし、悲しみを半分してくれる」とあります。竹馬の友と出会うよう、学校生活が充実するために支援していきます。

全ての子供たちに学校が、「自分という存在が大事にされている」「心の居場所になっている」「学校が自分にとって大切な意味のある場所になっている」と実感できる場所にしていきます。

深谷の未来を担う 子供たちの育成

～ 深谷市では、新しい教育委員会制度のもとで誕生した「総合教育会議」を核として、官民一体となり、“オール深谷”で様々な教育施策の展開に努めております。～

総合教育会議

《総合教育会議とは……》

総合教育会議は、市長と教育委員会で構成された会議です。

地域の実情に応じた教育、学術及び文化の振興を図るため、重点的に対応すべき施策や子供を取り巻く様々な課題等について協議・調整を行うことで、効果的に教育行政を推進することを目的としています。

《出席者》

市長・教育長・教育委員

《令和5年度のテーマ》

第1回 テーマ「渋沢栄一翁に学ぶ人材育成について」

第2回 テーマ「“渋沢栄一翁の精神”を広める取組」

平成27年：教育委員会制度の変更

政治的中立性の確保

迅速な危機管理体制の構築
首長との連携強化

→ 「総合教育会議」の設置

《これまでの協議内容と実現した取組》

年度	協議内容	実現した取組
H28年度	深谷の未来を担う子供たちの交通安全について	小学生のヘルメット着用
H30年度	平日の放課後子供教室の実施について	放課後子ども教室の実施
R5年度	渋沢栄一翁に学ぶ人材育成について	「ふるさと ふかや・渋沢学」フォーラムの実施

深谷市の取組 【令和5年度】

立志の精神

○ ころざしふかや 国際塾



世界の平和と発展に貢献できるリーダーを育成する目的で実施しました。（平成22年度から）

○ ころざしふかや 科学塾

子供たちの探究心と未来への夢を育む目的で実施しました。（平成23年度から）

等

○ ころざしふかや ふるさと塾

渋沢栄一翁 ジュニアボランティアガイド



養成講座を経て栄一翁に係る知識と説明の技術を高めた小・中学生が、「渋沢栄一記念館」と「中の家」でガイドとして活動しました。

栄一翁が生まれ育った地での活動をとおして、「ふるさと深谷を大切にしたい心」が育まれました。（令和元年度から）

等

忠恕の心

○ 手紙でつむぐ「ありがとう」の思い

「忠恕の心」を受け継ぎ、思いやりや感謝の気持ちを再認識し、「『ありがとう』があふれる街 ふかや」の土壌をつくる目的で実施しました。（平成19年度から）

等

○ 「ふるさと ふかや・渋沢学」の推進

- ・ 「ふるさと ふかや・渋沢学」フォーラム
- ・ 「渋沢栄一翁ころざし読本」の活用
- ・ 渋沢翁 語らいの日

等

市内の幼・保・小・中・高・大の各園・各学校が、地域の関係団体や機関等と連携・協働

※その他、様々な取組を実施



令和6年度に向けて



ふるさとを愛し
夢をもち
志高く生きる
人の育成

令和6年7月
渋沢栄一翁を
肖像とした
新一万円札の
発行

「立志の精神」と
「忠恕の心」を
広める取組の
充実へ

「ふるさと教育」の充実を

深谷市教育委員会教育長 小柳 光春

人は皆、誰もが生まれ育ったふるさとが大好きです。社会が大きく変化し、持続可能なまちづくりが叫ばれる中、ふるさとの担い手を育む教育の充実が急務となっております。深谷市では、この課題に応え、ふるさとを愛し、誇りに思う「ふるさと教育」を推進し、ふるさとの担い手づくりに尽力しております。